

# *INTER COOLER* Chemical Shine **CS**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

## 取 付 説 明 書

**MARK II**

**JZX110**

**BLITZ**

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

### お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

### 装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車 名：TOYOTA MARK II
- 型 式：JZX110
- エンジン：1JZ-GTE
- 年 式：2000年10月～
- 製品名称：BLITZ INTER COOLER Chemical Shine
- 製品番号：13108

### 製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住 所：東京都西東京市新町4-7-6
- FAX：0422-60-0066

### はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。

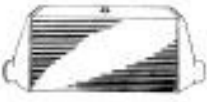













### 重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ブローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
- 本製品を装着すると、車輛によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行して下さい。

### 取り付け作業の方へ注意

- 品質には万全を期しております、KIT内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行って下さい。

■パーツリスト■

インタークーラーASSY	ブラケットA	ブラケットB	ブラケットC
 1	 1	 1	 1
インテークパイプNo.1	インテークパイプNo.2	インテークパイプNo.3	シリコンホースφ70用
 1	 1	 1	 4
異型ホースφ60-φ70	クランプφ70用	クランプφ60用	ボルトM8×12
 1	 9	 1	 3
ボルトM6×15	M6ナット		
 3	 1		

## □組み付け作業手順□

### ■作業の方へお願い！

- ・作業が終了しましたら、本取扱説明書は、必ずお客様に返却して下さい。

### ■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。

- ・純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- ・再使用する純正のガスケット類も、十分に点検して、不具合のある場合は純正品の新品に交換して下さい。

### 警告 作業中の怪我・火傷

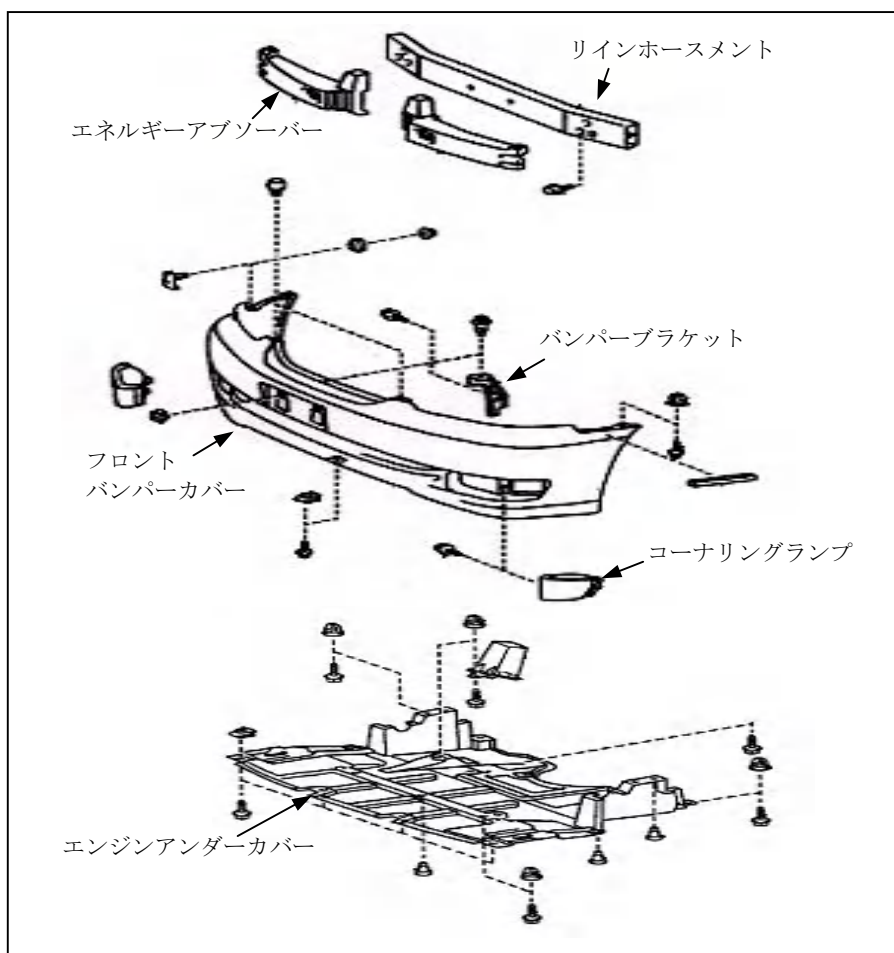
- ・装着作業は専門の整備工場などに依頼して下さい。

★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

## ■ノーマルパーツの取り外し■

1. バッテリーのマイナス端子を取り外して下さい。
2. 車両をリフトアップ（ジャッキアップ）し、スクリュをはずしてエンジンアンダーカバーを取り外して下さい。
3. スクリューおよびクリップを取り外し、フェンダライナ（LH・RH）の前部を、フロントバンパーカバーから外して下さい。
4. フェンダライナをめくりながら、フロントバンパーカバー側面上部のスクリュおよびナットを取り外して下さい。そして、クリップをはずしてフロントバンパーカバーを取り外して下さい。
5. スクリューをはずして、コーナリングランプASSYを取り外して下さい。
6. エネルギーアブソーバー、フロントバンパーラインホースメントを取り外して下さい。
7. ボルトを外して、バンパーブラケットを取り外して下さい。

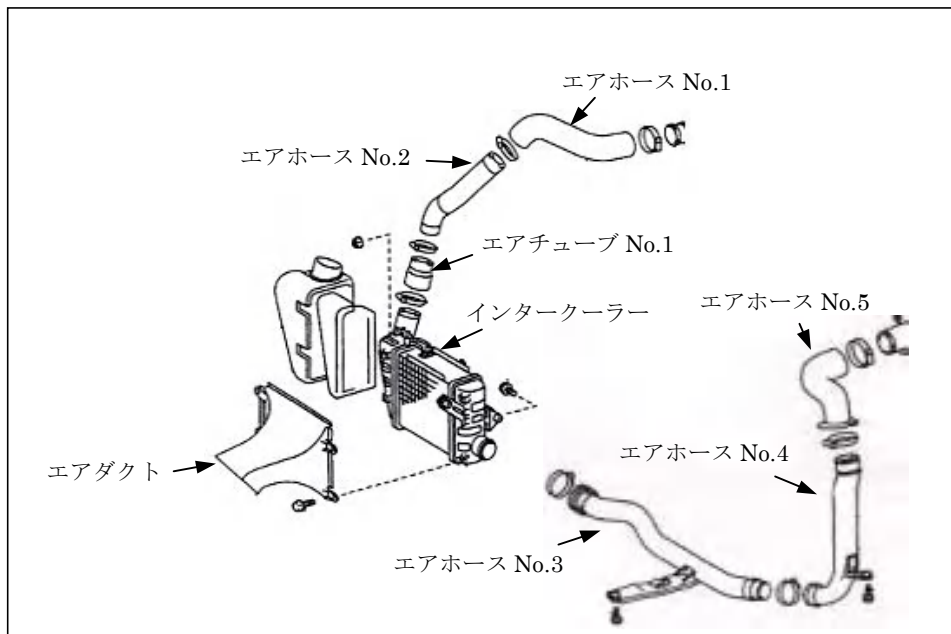
※お願い ボルト類は再使用しますので、紛失しないよう注意して下さい。ランプ類のコネクターを、忘れずに抜いて下さい。



8. 純正インタークーラー取り外し

純正インタークーラーASSY、インタークーラーエアダクト、エアチューブ No.1、エアホース No.3、エアホース No.4、エアホース No.5 を取り外して下さい。

※エアホース No.1、エアホース No.2 は取り外しません。



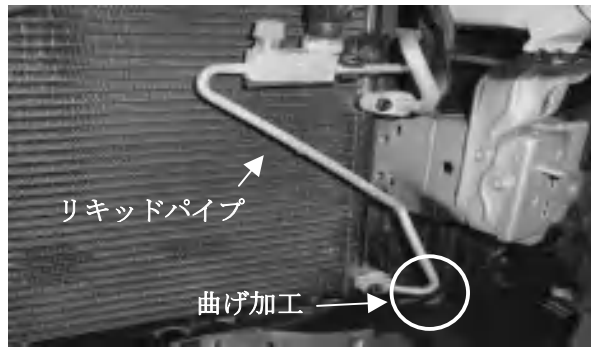
■キットパーツ取り付け■

1. 純正バンパーブラケットを、下図のようにカット加工して下さい。

※加工時は、保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業して下さい。



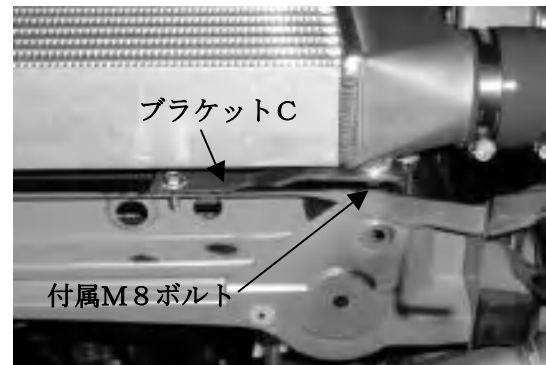
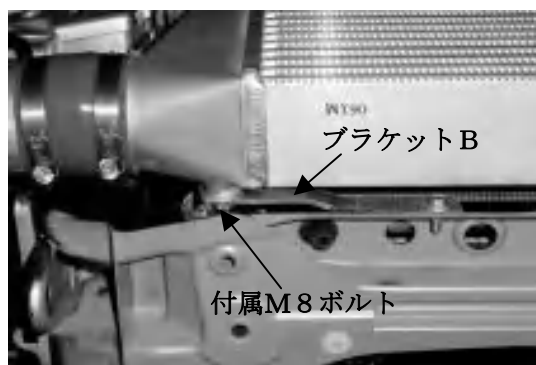
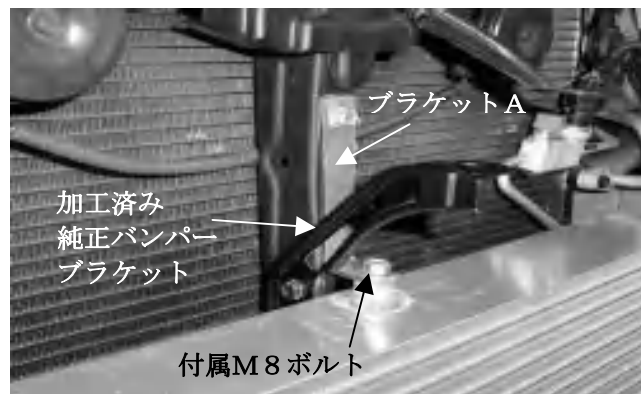
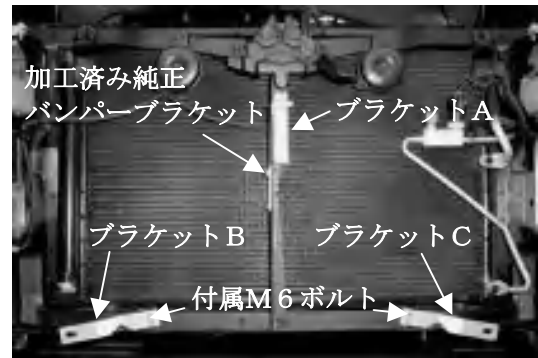
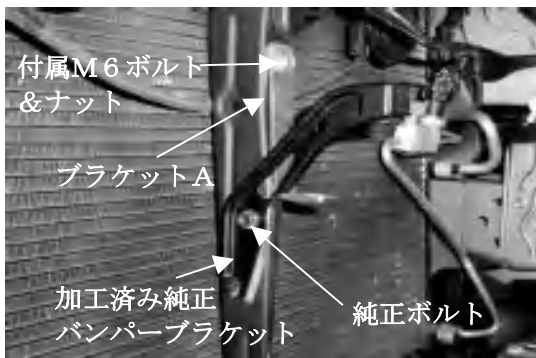
2. リキッドパイプがインタークーラーに干渉しないよう、下図の円で囲んだ部分のパイプを曲げ、コンデンサー側へ寄せて下さい。この時、パイプは破損しやすいので、力まかせに曲げずに、潰れ等にご注意し、ゆっくりと慎重に曲げて下さい。



3. 付属のブラケット、A、B、Cを使用して、インタークーラーASSYを取り付けて下さい（付属のボルト、ナットを使用して下さい）。

※インタークーラーが水平になるように調整し、ボディの各部に干渉しないか確認して固定して下さい。

4. 1で加工した純正バンパーブラケットを、純正のボルトを使用して、取り付けて下さい。



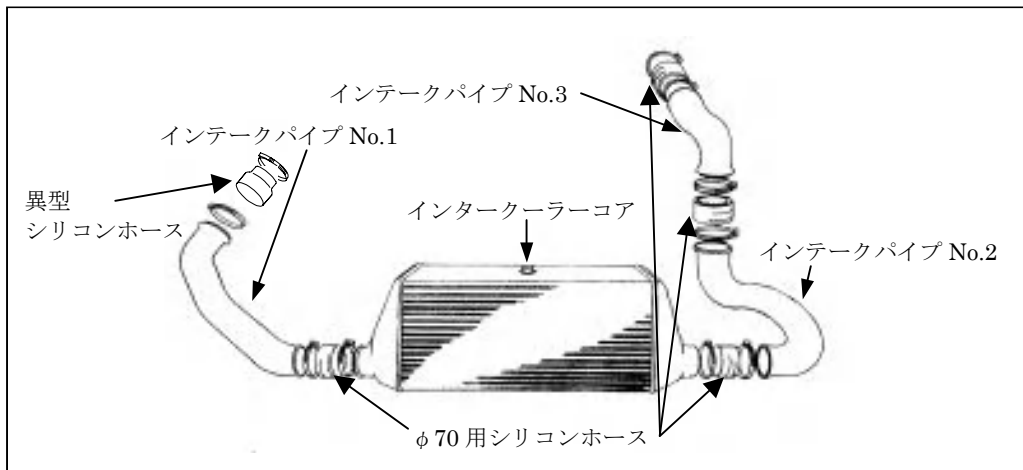
5. 付属のパイプ No.1~No.3、付属の各サイズのクランプおよびシリコンホースを使用して、図のように配管して下さい。

※パイプには No.と方向（ターボチャージャー→スロットル）が記されたステッカーが貼ってあります。

※各パイプがボディ等に干渉しないよう、調整して下さい。

※パイプ No.3 はプーリーやファンベルトとのクリアランスに注意して下さい。

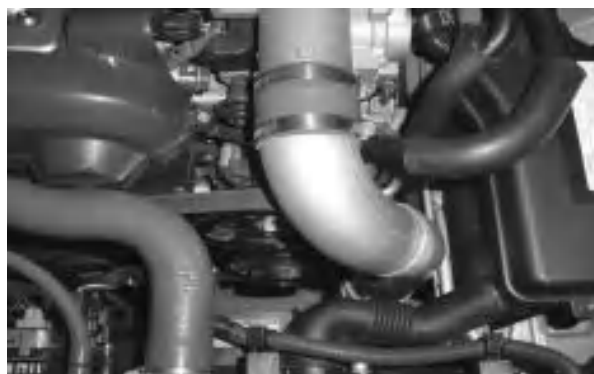
※ホコリや異物が入らないように気を付けて下さい。



インテークパイプNo. 1



インテークパイプNo. 2



インテークパイプNo. 3

6. フロントフェンダライナーを、インテークパイプが通るように、下図のようにカット加工して下さい。  
※加工時は、保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業して下さい。



7. 純正のリインホースメントを取り付けて下さい。  
※リインホースメントとインタークーラー本体が干渉する場合は、固定ブラケットを緩めて調整し、干渉しないように取り付けて下さい。
8. フロントバンパーカバーがインタークーラーASSYやインテークパイプに干渉しないように、フロントバンパーカバーの干渉部分をカット加工して下さい。  
※加工時は、保護メガネ・マスク・軍手等を着用して、安全に作業して下さい。
9. 純正のクリップ、スクリューおよびナットを使用して、フロントバンパーカバーを取り付けて下さい。
10. 純正のスクリューを使用して、コーナリングランプASSYをフロントバンパーカバーに取り付けて下さい。  
※ランプ等のコネクターは確実に接続して下さい。
11. 純正のスクリューおよびクリップを使用して、フロントフェンダライナーとエンジンアンダーカバーを取り付けて下さい。
12. バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。

#### ■エンジンの始動にあたって■

- 必ず換気のよい場所で行って下さい。
- コーナリングランプが点灯するか確認して下さい。
- 各部品はしっかりと固定されているか、エア漏れはないか確認して下さい。
- インタークーラーの配管を間違えていないか確認して下さい。また、配管が確実に接続されているか、確認して下さい。
- 配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意して下さい。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり、配線ショートを起こしたりすると、最悪の場合はエンジンが破損する恐れがあります。

以上でKITの取り付けは終了です。

- テスト走行を行い、各部に不具合がないかどうか、確認して下さい。もし、不具合があるようでしたら、もう一度本取扱説明書をよく読み、各部のチェックを行って下さい。



**BLATZ**